

奈良市 手をつなぐ親の会だより	NO 396	令和5年10月20日(金)	
	発 行	奈良市手をつなぐ親の会	
	会 長	小 西 英 玄	
	所 在 地	〒631-0801 奈良市左京 5-3-1 奈良市総合福祉センター内	
	Tel 0742-71-0770	http://naraoyanokai.info/	



知的障害者、育児かなわず 支援態勢なく乳児院に



神奈川県内のグループホーム(GH)で暮らす軽度知的障害の女性(31)が男児を出産し、育児を希望したが、乳児院に預けざるを得なくなっていたことが1日、分かった。GHでの受け入れがかなわず、GH以外で十分な子育て支援を受けるのも困難だった。

知的障害者の出産や育児を巡っては、北海道江差町のGHで入居者が不妊処置を受けていたことが昨年、判明。これを受け、厚生労働省は障害福祉や子育て関連施策を最大限活用して障害者の育児を支援するよう自治体に通知したが、実際には希望が宙に浮いてしまう現実が改めて浮き彫りになった。

女性は神奈川県藤沢市で社会福祉法人が運営するGHに住んでおり、同県内の企業に勤務。生理不順もあって、妊娠に気付いたときには22週を超えており、中絶の選択肢はなかった。行政などの支援を受け、今年4月に男児を出産した。交際相手とは別れ、シングルマザーとして子育てを希望。女性によると、GHに相談したが「精神障害のある他の入居者に男児の泣き声が悪影響を与える可能性もある」などと断られた。

「めっちゃちゃん心配された知的障害の女性が出産、「めっちゃいいお母さん」に 子育てを可能にした秘訣とは

北海道の障害者グループホームで、知的障害のある入居者が運営法人から求められて不妊手術・処置を受けていたという問題が昨年、明らかになった。「知的障害者に子育ては無理だろう」。そう考える人は多いのではないか。だが、知的障害の娘が出産したある母親は「そんなことはない」と言う。障害の程度にもよるだろうが、実際問題、どうやっているのか。そこには、障害特性に応じて子育てを可能にする「先回り」の策があった。(共同通信=市川亨)

▽ホワイトボードに「やってもらうこと」 大阪府内にある団地の一室。佐藤葵さん(23)が夕方、長男の陽耀(はるき)君(1)を保育園から連れて帰宅すると、間もなくなじみの女性ヘルパーがやってきた。葵さんには軽度の知的障害と注意欠陥多動性障害(ADHD)、自閉スペクトラム症がある。日常会話や、料理など一定の家事はできるが、すべてこなすには手助けが必要なため障害福祉サービスで週3回、ヘルパーの家事援助を受けている。

ヘルパーはまず、冷蔵庫に貼ってあるホワイトボードを確認。やってもらうことを忘れっぽい葵さんが、あらかじめ必要なことをメモしているからだ。この日は「夕食作り2人分」「帰リゴミ捨て」などと書いてあった。ヘルパーが料理を始めると、葵さんは陽耀君の食事を作って食べさせたり、おむつを交換したり。女性ヘルパーは「葵さんは離乳食で指導されたことをノートに書いて、アレルギーもチェックしている。めっちゃいいお母さんです」と褒める。家事の段取りも葵さんが自分で考えている。▽メモを付ける習慣 葵さんは学校の後輩を通じて知り合った健常者の夫(21)と2020年に結婚。22年3月に陽耀君を出産し、団地で3人で暮らす。同じ団地で別の棟に住む葵さんの母、早川やえこさん(45)は「まさか娘が結婚して子どもを持つとは…。そりゃ、めっちゃくちゃ心配でしたよ」と振り返る。小学校で勉強についていけなかった葵さんは忘れ物も多く、途中から特別支援学級に。中学では教師の配慮

に欠ける言動で不登校になり、「死にたい」と自傷行為をすることもあった。しかし、特別支援学校の高等部では、早川さんが葵さんの特性を学校側に細かく説明。教師に恵まれ、通うことができたという。早川さんは、忘れっぽい葵さんのために幼い頃からメモを書く癖を付けさせた。学校卒業後、障害者枠でスーパーに就職した葵さんは「仕事ノート」を自分で作り、指示されたことを書いて覚えている。週5日勤務で、朝は夫が出勤前に陽耀君を保育園に預け、夕方に葵さんが迎えに行く。料理を含めて家事は夫と分担。家計は夫婦共働きの収入と、葵さんの障害年金でやりくりする。家計簿もつけている。▽「支援受ければ何とかなる」葵さんの育児を可能にしているのは、こうした「メモ」の工夫以外にもう一つある。母、早川さんの「先回り」の対策だ。葵さんが自分で料理ができるよう、写真を使って電子レンジの使い方や調理方法を教えた。また、葵さんが小さい頃から障害特性や成育歴、支援機関の担当者などの情報をまとめたファイルを作成。病院受診や福祉サービスの利用時などに担当者へ示して配慮を求めた。妊娠が分かってからは、このファイルを持参して市役所の子育て支援、保健、障害福祉の各部署を回り、連携して支援してくれるよう依頼した。

出産後、育児に慣れるまでの1カ月間は障害福祉のヘルパーだけでなく、市の育児支援ヘルパーも利用して乗り切った。陽耀君の入園が決まると、早川さんが保育園に出向いて葵さんの障害を説明。「必要な物をメモで具体的に書いてもらえると助かります」などとお願した。早川さん自身が保育士で、これまで得た知識や経験も生きた。「私がいなくても葵が生きていけるよう、常に先回りして策を立ててきた」と話す。知的障害者の親の多くは「もし子どもが生まれたら、私たちやきょうだいも面倒を見なくてはいけなくなる」と考えがちだ。だが、葵さん自身がいろいろなことをできるようになったことに加え、支援サービスの利用により、早川さんが葵さんに会うのは週1回程度。心配だった日々を乗り越え、今は「福祉の支援を使えば、何とかなる」と明言する。葵さんは「子育ては楽しい。幸せです」と笑顔で話す。▽沐浴、授乳、保育園への連絡…ヘルパーは育児支援も可能

北海道の不妊処置問題の背景には、障害者のグループホームでは子どもの支援は想定していないという制度的な壁がある。早川さんは「だったら、家族で暮らせる住まいを探すとかが『こうしたらできる』という道と一緒に探してほしい」と訴える。実は、グループホームではなく一般の住宅やアパートなどで暮らす場合は、障害福祉のヘルパーが育児の支援もしてよいことになっている。一定の条件があるが、厚生労働省は過去に2回、「一人一人の事情を踏まえて適切なサービスを提供するよう」自治体に通知している。家事だけでなく沐浴や授乳、保育園や学校との連絡といった支援が可能だ。ただ、自治体や障害者の間でもあまり知られておらず、ヘルパーの人手不足もあって十分に活用されていないのが実情だ。▽「みんな苦手なことはある」1歳になった陽耀君は保育園に育っていて、今のところ障害は見つかっていない。でも、もし今後、障害が見つかったら？ 早川さんは葵さんにこう話している。「仮に障害があっても、人はいろいろ。みんな苦手なことはある。助けを受ければ自立できる。そういう気持ちでいれればいい」

早川さんは自分が亡くなった場合の「親亡き後」についても、既に先回りしている。葵さんが自分で障害者手帳の更新手続きをできるよう、手順書を作ってあるのだという。▽取材後記 知的障害者が子どもを持つことに反対する人からは「最初から福祉をあてにすべきではない」との意見もある。早川さんは「そういう考え方をする人たちを否定するつもりはない」と言う。ただ、一方でこうも話した。「年を取れば誰でも介護を受ける。みんな助けたり助けられたりの関係じゃないでしょうか。親の私が『あなたはこれができないから、こうなさい』と娘の人生を決めつけるべきではない。障害があっても自分らしく生きてほしい」葵さんを育ててきた早川さんの考え方は一貫している。「無理」と思い込まず、常に「どうやったらできるか」を考え、実行する。手間はかかるが、そのおかげで葵さんは多くの生活能力を身に付けた。陽耀君を世話する様子を見ていて、その事実を実感した。

上記の2つのニュースがありました。共通しているのは障がい者の出産です。違ったのが神奈川県の場合は子どもを乳児院にあずけなければならないケース。大阪府は多くの支援を受けて母子ともに、団地での生活を

されているケースです。1面の親子の写真(ご本人提供)。皆さんのご家庭にもきっと1枚はあるのでは？
もしかしたら、赤ん坊が皆さんの写真も古いアルバムに、有るのではないのでしょうか？

悲しいです。誰もこの親子の幸せを奪う権利はないはずです。

ご家庭の状態や障がい程度の違いはあると思います。そして地域性もあるかもしれません。「いつでも」「どこでも」「だれでも」同じ福祉を 各福祉の基本だと考えています。 私たち「福祉で街づくり」を掲唱してきました。如何なる障がいがあっても、子育てができる街。ご両親のサポートが無理でも子育てができる街。大阪のケースが特殊ではなく、何処でもこの様な支援は可能なはずで

北海道の不妊手術。神奈川県乳児院。どちらも、障がい者を支援する法人の決定により起こっています。障がい者の生活を支援するのが法人のはずなのに、ニュースの記事だけで全てを判断するのは早計かもしれません。しかし、結果がすべてです。いろんなことを考え、試行錯誤の結果「ごめんなさい、無理でした」が通じる福祉に、わが子を安心して託せますか？

もし、奈良市で神奈川県のケースが生じたらどの様に対応するでしょう。親子はGHで生活を望んでいました。でも、子どもの鳴き声が他の住民の迷惑になるから、子どもを乳児院にあずける方針がでました。GHで母子が暮らすことに制度的に問題があるのなら、議論が出来ます。GHにランチのワンルームマンションを加えて、支援すれば問題が無いと考えます。

この親子のこれに至ったケース記録。ケース会議の議事録の開示を求めるべきです。

私たち当事者団体は法人間格差をなくし、施設職員の質の向上を図るために、わが子のケース記録の開示を求める活動を始めませんか？ 少し勇気がいるかもしれませんが、毎日のケース記録を見るのが目的ではありません。変調をきたした時、その前後の日中活動の記録、また、その状態ごとの様に対応したかを記載されたケース記録を見ることで、親として現場職員へのアドバイスや、家庭で気を付ける事など、改善への情報の共有が目的です。

個別支援計画「サービス等利用計画」作成時の根拠となるケース記録の開示も求めたいです。ケース記録の開示は「個人情報保護法」により守られていますが、本人が求めれば可能との事です。

決して、批判や指摘が目的ではありません。わが子がより我が子らしい生き方が出来るよう、現場との協同作業で、わが子を知って頂きたいからです。

啓発文具(鉛筆、消しゴム、替え芯)の販売について

奈良市手をつなぐ親の会では、長年にわたり、「この子らを世の光に」啓発活動として、市内各学校 幼稚園のご協力のもと、鉛筆、消しゴム、替え芯 などの啓発文具を販売し、『親の会』で、あの鉛筆の・・・』と仰っていた程、親しんでいただけてまいりました。

現在、奈良市総合福祉センター 事務室 および イベント などでも販売しておりますので、ご購入いただきますようお願いいたします。

鉛筆(HB) 1本 50円 (1ダース 600円)

鉛筆(B) 1本 50円 (1ダース 600円)

消しゴム 1個 60円 替え芯(HB) 1個 200円

ご購入についてのお問い合わせは「奈良市総合福祉センター(0742-71-0770)」まで。



春咲きコンサート ～そろそろ準備始めます～

みなさんこんにちは。

ずいぶんご無沙汰してしまいました。

そろそろ「春咲きコンサート」の準備を始めます。

4年前にタイムスリップできれば問題なく開催できるのですが…

皆さまの働く場でも変わってきているのと同じく世の中もずいぶん変わりました。

そんな中、息子と一緒に「なら100年会館」の前を通りかかった時はいつも息子がピアノを弾く真似をします。

息子は、私に「春咲きコンサートいつあるの?」「春咲きコンサートまた行きたいよ」って伝えているんだと思います。

福祉の現場ではスタッフの数が少なく負担も多いと聞きます。教育の現場では働き方改革で春咲きコンサートの会議に出席することが困難になっていると聞きます。

でも、春咲きコンサートを楽しみに待っていてくれる障害のある人たちからは「今年は春咲きあるの?」という声を聴きます。

公私ともにお忙しいと思いますがご協力をお願いします。

お仕事を離れての個人ボランティア大歓迎です。

春咲きコンサート事務局

行事予定

(新型コロナウイルス感染症の状況などにより、行事が中止や変更になる可能性があります)

11月	(日程)	(場 所)	(主 催)
クリーン作戦	1(水)	市役所玄関前(10時集合)	市親の会
青年学級 お誕生会	11(土)	市総合福祉センター	市親の会 青年学級
奈良市障がい者・児作品展 (県)研究大会	11(土)~19(日) 13(月)	市総合福祉センター 県社会福祉総合センター	市総合福祉センター 県育成会
市理事会	17(金)	市総合福祉センター	市親の会
ボランティア フェスティバル	18(土)	市ボ連	市ボランティア協会
奈良県障害者作品展 (※)	30(木)~12/5(火)	芸術会館 (美楽来)	奈良県
12月	(日程)	(場 所)	(主 催)
クリーン作戦	1(金)	市役所玄関前(10時集合)	市親の会
障害者週間	3(日)~9(土)		
青年学級 忘年会	9(土)	場所未定	市親の会 青年学級
県 サンメイト クリスマス会	17(日)	ザ カシハラ (旧 橿原ロイヤルH)	県育成会 本人の会

※ 奈良県障害者作品展は、

「芸術会館 (美楽来)」(生駒市西松ヶ丘2-20)で開催されます。

生駒駅下車、北西へ徒歩 8分

コミュニティバス「たけまる号」利用の場合、光陽台線「芸術会館」下車すぐ

12/4は休館日です。